

平成 22 年度 終了評価書

研究機関 : 日本電気(株)、(株)KDDI研究所、国立大学法人東京大学

研究開発課題 : セキュアクラウドネットワーク技術の研究開発
(クラウド同期型次世代IPネットワーク基盤技術)

研究開発期間 : 平成 21 年度

代表研究責任者 : 加納 敏行

■ 総合評価(SABCD の5段階評価) : 評価A

■ 総合評価点 : 48点

(総論)

当初目標以上の優れた研究成果が得られており評価できる。

(コメント)

- 設定した課題は、計画通りに実施され、全て平成 21 年度の目標は達成されるとともに、一部は当初目標を上回って達成されている。
- 今後も国際的なリードを続けてもらいたい。

(1) 事業の目的および政策的な位置付け

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 8点

(総論)

次世代クラウドコンピューティングに向けたネットワーク技術の課題解決を目的としており、本事業の重要性、妥当性があり、国として推進すべき事業であることも変わりはない。

(コメント)

- インターネットにおいて効果的なクラウド構成を可能とするために、クラウドの基盤として信頼できるネットワークの運用制御、監視、再構成等の技術を実現することが不可欠である。
- 多様な要求に応える技術確立を各課題について広範に取り組み、その成果を広く普及させて提供させるために、国として推進すべき必要性がある。
- 米国の新世代ネットワーク(GENI)の中でもオープンフロー技術が注目されており、フロー技術の活用は技術的意義がある。
- 対象とするクラウドの狙いは、研究期間中にも変化し、マーケットの狙いがぼけてきている感がある。

(2) 研究開発目標

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 8点

(総論)

現時点でも妥当性があり、また、情勢の変化に応じて適切に達成目標の再設定を行っており優れている。

(コメント)

- クラウドと次世代IPネットワークを結び付けるアイデアは評価できる。
- 計画期間の短縮があったが、必要な課題については当初計画より先行して進めるなど柔軟な目標設定を行った
- 研究の進捗に沿って、より高い設定目標に向かって研究開発が行われ成果を得ており、優れていると評価できる。
- 取り組むべき課題を整理分割し、メリハリをもって優先順序をつけて遂行する着実かつ効果的な計画を立案している。

(3) 研究開発マネジメント(費用対効果分析を含む)

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 8点

(総論)

情勢の変化に柔軟に対応したほか、適切かつ効率的な研究開発マネジメントが行われ、複数受託者及び課題間での密接な連携が図られるなど、優れた実施体制であった。

(コメント)

- 広範な課題を分割し、充実した大人数の研究体制をさらに専門化させて各課題を分担しつつ、システム全体や利用など大きな分類で連携を図っており、実施と進捗管理の両面で効果的である。
- 企業と大学との役割分担、連携も適切である。
- プロジェクト統括会議などを開催し、課題間での密な連携と意思疎通を図っている。
- 研究の進展に合わせて、新たな目標を積極的かつ柔軟に設定している。その目標もが達せられており効率的である。
- 1年間で実施できたことは評価に値する。

(4) 研究開発成果の達成状況

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 8点

(総論)

計画通りに進められ、一部に計画を上回る成果を上げている。

(コメント)

- 一部では当初目標の機能設計に加えて、プロトタイプ開発まで行われており、計画を上回る成果を得ている。
- 期間も短く、実証は限定的であるが、今後に期待できる。
- 日本電気(株)の研究成果は国際的にも評価されている。

(5) 研究開発成果の展開および波及効果

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 8点

(総論)

実施組織内での実用化への試行が計画されている状況にあり、成果の高い実用可能性が認められており、標準化を見据えた活動も積極的に行っている。

(コメント)

- 得られた成果について商用化や製品化まで視野に入れており、実用化方策も充実している。
- 多数の特許出願があり、具体的な製品もトライアル版が既にある。
- 次世代IP網の一般化が進めば、アウトカムに期待できる。
- 成果を広く実証・検証し、技術を公開普及させる具体的取組みがあれば望ましい。
- 標準化に向けた GICTF 等での情報展開活動にも積極的に参加しており、今後の継続も期待される。

(6) その他(広報活動 等)

(SABCD の5段階評価) : 評価A

評価点 : 8点

(総論)

展示会、報道発表等による成果の情報発信が多くなされており、標準化についても積極的な取り組みがなされた。

(コメント)

- シンポジウムの開催や多数の発表がある。
- 予定を上回る特許申請が行われている。
- 期間が短いことを考慮すればよくやっている。